



# 関まさゆき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 更新間近の緊急医療情報システム

### タブレット端末を すべての救急車に



県議会壇上で一般質問を行う関政幸県議

だれもが住み良いと実感できるふるさとづくりに全力を上げていく関政幸県議(千葉市緑区選出、2期)は12月県議会で一般質問を行い、30年度から更新される県の緊急医療情報システムや犯罪防止へのドライブレコーダーの有効性、いじめ対策などについて県執行部に質しました、関議の質疑と森田知事らの答弁を紹介します。

### 12月定例県議会一般質問

関議員 救急医療情報システムについてうかがう。平成24年3月から運用されている現行システムは、病院側の情報入力負担や、情報の鮮度などに課題があり、十分に利用されていない

いと認識している。30年度からのわが県の次期システムでは、情報制度の向上を図り、利用の好循環を生み出すために使用する救急隊側の装備を整えること、つまり、救急車全台

へのタブレット端末、あるいは同様の機能を果たすことができるスマートフォン配備がカギになる。そこでうかがうが、救急医療情報システムの更新では、どのような改善を行う

のか。また、利用者である救急隊や病院の声については、どのように反映しているのか。

知事 県では平成30年度から「ちば救急医療ネットワーク」の更新を予定していますが、これまでに、医療や消防関係者を構成員とするワーキンググループを設置し、そこで出された意見などを踏まえて検討を進めてまいります。

今回の更新では、医療機関の入力する朝夕2回の情報しか共有できていないなど現行システムの課題なども踏まえ、情報入力負担にも配慮しつつ、救急隊の交渉経緯や結果などをリアルタイムで見ることのできるようなシステムに改善する予定です。

運用していく中でさらに改善を図るべく、関係者等の意見を聞きながら、より良いシステムを目指してまいります。

関議員 県内すべての救急車に対し、タブレット端末を配備させてはどうか。

また、システムのスマートフォン対応についてはどうか。

保健医療担当部長 救急車にタブレット端末等を配備するかどうかについては、実際に現場で救急搬送を担う市町村において、それぞれの

実情に応じて判断していただくべきものと考えています。また、今回のシステム更新に当たっては、救急搬送現場での利便性を向上させるため、利用可能な端末の拡大を図り、スマートフォンやタブレットであってもスムーズに使える仕様としています。

関議員 救急医療情報システムについての近隣都県との相互利用や連携については、近隣都県との連携も重要なことと考えています。

知事 救急を要する患者に対しては、所在地に関わりなく、迅速かつ的確に医療機関に搬送されることが求められており、近隣都県との連携も重要なことと考えています。

近隣都県が運用するシステムとの相互利用や連携については、それぞれの持つ機能や更新時期等も踏まえ、今後、県内の医療や消防関係者などの意見も聴きながら、検討してまいります。

関議員 救急医療情報システムであるが、ぜひ進めていただきたいのが、先ほど知事自ら言っていた近隣都県との連携である。この広域連携で、県に重要な役割がある。中

間行政としての存在意義にも係わるものである。言うまでもなく、提供する側のシステムがうまく機能していなければ、相手方に連携するメリットはない。その逆ももちろん。

近隣では、埼玉と群馬が連携しているが、その前提は、やはり両システムがうまく機能している。両県とも、全救急車にタブレット端末を配備している。

今後、本県が周辺都県とシステムのような連携をしていくためにも、まず本県のシステムがしっかりと利用され、披露されるものでなければならぬ。それには、スタートのタイミング、つまり平成30年4月1日の運用開始が肝心。おそらく各消防には現行システムへの悪い社会イメージがある。それを払拭するためには、救急車側の装備についても、県の積極的な関与が不可欠だと思っ

次期システムの運用開始までの県内全救急車へのタブレット端末またはスマートフォンの配備の完了をよろしくお願ひしたい。

### 関まさゆき県議プロフィール

#### 略歴

- 1998年3月 県立千葉東高校卒業
- 2002年3月 早稲田大学商学部卒業
- 2005年10月 司法試験合格
- 2007年9月 司法研修所終了  
弁護士登録
- 2011年4月 県議会議員に初当選
- 2015年4月 県議会議員に再選

#### 現職

- 県議会 総務防災常任委員会委員
- 自民党県連 いじめ問題対策プロジェクトチーム事務局長

●千葉市緑区と県政についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

## 関政幸 県議事務所

千葉市緑区あすみが丘 3-51-10  
TEL.043-295-1011  
FAX.043-291-5526

# パトカーや公用車に ドライブレコーダー

## 「動く防犯カメラ」に期待

**関議員** ドライブレコーダーには、設置者の運転記録を保全するという本来の役割を超え、「動く防犯カメラ」としての役割もある。公用車への設置を広めることにより、本県における交通事故対策と防犯力の向上を図っていくべきだ。そこでまず、警察車両からどうか。県警ではドライブレコーダーの有用性をどのように捉えているか。

**警察本部長** 設置状況につきましては、警察車両約2200台のうち、約200台に設置しており、設置率は約9%となっております。また、今後の設置方針につきましては、企業や自治体等に映像提供の協力を求め

る一方で、警察車両にもドライブレコーダーを設置する必要があると認識しているところであり、パトカーや交通事故処理車などの緊急自動車に優先した整備を引き続き進めてまいります。

**総務部長** 一般公用車のドライブレコーダーについては、今年度、道路パトロールや環境パトロール等で使用

する車両を中心に新たに44台設置しまして、本年12月現在、全公用車1521台のうち61台が設置済みであり、その割合は約4%となっております。

態を記録していることから、ドライバの運転マナーや安全運転意識の向上が期待できると認識しております。また、最近は一一般車両に搭載したドライブレコーダーが、「動く防犯カメラ」として犯罪捜査に活用されている例があると承知しています。

県といたしましては、こうしたドライブレコーダーの有用性を踏まえ、今後、一般公用車への計画的な設置について検討してまいります。



議場の自席で再質問を行う関政幸議員

## 県職員へモバイル端末 業務の削減・効率化へ有効

長期的にどのように展開していくのか。

**総務部長** 業務へのモバイル端末利用の検証を行った結果、業務の削減・効率化への有効性が認められた一方で、不正利用に対するセキュリティの強化や、操作性、利便性の向上が必要であることが確認されました。

**関議員** これまでの通報アプリがあれば初期の発見で早期の解消となった、あるいは重大事態に至ることを防げたケースがあったかを検証し、SNS上でのいじめ対策に有効な通報アプリや、SNSを利用した相談体制を本県も率先して導入することを要望する。

今後も、農業、福祉をはじめとする幅広い分野において、モバイル端末を活用した業務改善に積極的に取り組んでまいります。

## 県内公立校での重大いじめ 3年間で63件発生

また、災害発生時等において、現場状況の効率的な把握が可能になるなど、その有用性は高いものと認識しているところがあります。

**関議員** 警察車両のドライブレコーダーの設置状況はどうか。また、今後、全警察車両への設置を進めるべきであるが、方針や計画を

**関議員** 学校でのいじめ対策についてうかがう。本県で発生した重大事態について、平成28年度の件数及びこれまでの累計件数はどうか。また、これまでの対応や教訓を活かして、県教育委員会では、どのような取り組みを行っているのか。

**教育長** 本県のいじめの重大事態の件数は、平成28年度は県立学校で7件、市

町村立学校で10件、また、平成26年の千葉県いじめ防止対策推進条例施行後、3年間の累計では、県立学校で10件、市町村立学校で53件となっております。これまでの県内の重大事態に関して、千葉県いじめ対策調査会等から、いじめの早期発見、迅速な組織的対応、保護者等との信頼関係の構築などが、課題として

て指摘されたことから、県教育委員会では、これらの課題も含め、これまでの県内のいじめの状況を踏まえ、11月に千葉県いじめ防止基本方針を改定したところであります。

**教育長** 県教育委員会では、SNS上でのいじめやトラブルが懸念される中、各学校が実施する情報モラル研修への講師派遣事業

を実施するなど、SNSの使用方も含め、情報モラル教育の充実に向けて取り組んでいます。熊本の試験的な取り組みは、被害者だけでなく、SNS上でのいじめを見た第三者も通報できるようになっており、トラブル等の早期発見に効果が期待されています。

こうしたSNSを活用した相談体制については、現在国において研究が進められており、県内でも柏市が先進的に取り組んでいる状況です。県教育委員会としては、引き続き、情報モラル教育

### SNS上のいじめ 通報アプリの導入を

**関議員** SNS上のいじめに

対し、通報アプリの導入を試験的に行っている熊本の取り組みを見習い、本県も積極的に試みてはどうか。

**教育長** 県教育委員会では、SNS上でのいじめやトラブルが懸念される中、各学校が実施する情報モラル研修への講師派遣事業

を実施するなど、SNSの使用方も含め、情報モラル教育の充実に向けて取り組んでいます。熊本の試験的な取り組みは、被害者だけでなく、SNS上でのいじめを見た第三者も通報できるようになっており、トラブル等の早期発見に効果が期待されています。

こうしたSNSを活用した相談体制については、現在国において研究が進められており、県内でも柏市が先進的に取り組んでいる状況です。県教育委員会としては、引き続き、情報モラル教育

を実施するなど、SNSの使用方も含め、情報モラル教育の充実に向けて取り組んでいます。熊本の試験的な取り組みは、被害者だけでなく、SNS上でのいじめを見た第三者も通報できるようになっており、トラブル等の早期発見に効果が期待されています。